

# 社会資本総合整備計画

みなとさかたちゅうしんしがいち  
湊酒田中心市街地地区都市再生整備計画(第6回変更)

やまがたけん さかたし  
山形県 酒田市

平成26年11月

# 都市再生整備計画（第6回変更）

みなとさかたちゅうしんしがいち  
湊酒田中心市街地地区

やまがたけん さかたし  
山形県 酒田市

平成26年11月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	山形県	市町村名	きかたし 酒田市	地区名	みなとさかたちゆうしんしがいらちく 湊酒田中心市街地地区	面積	111.4 ha
計画期間	平成	22	年度	～	平成	26	年度
交付期間	平成	22	年度	～	平成	26	年度

<b>目標</b> 大目標: 湊まちルネッサンス(再興) ー 湊のにぎわいと交流のあるまちづくりー 目標1: にぎわいあふれる商業のまち 目標2: 訪ねて楽しい観光のまち 目標3: 暮らしやすく多様な世代が住むまち
---

<b>目標設定の根拠</b> まちづくりの経緯及び現況 ・本市の中心市街地は、長い歴史の中でまちづくりが行われてきた地域であり、そこには事業所や商店街、公共サービス機関、医療機関、福祉施設、教育文化施設、娯楽施設などの都市機能や歴史的な資源が集積しており、本市の「顔」となっている。高度経済成長以降、急激な車社会の進展や土地区画整理事業による市街地の拡大、商業集積の多極化により商店街の低迷が続いており、中心市街地地区の人口減少、世帯数減少、高齢化の進展が顕著となっている。 ・当地区には、「旧鍛屋」「本間家旧本邸」「山居倉庫」「本間美術館」など、今なお往時をしのばせる建造物が数多く存在し、豪商によって築かれた歴史や文化が色濃く残り、浪漫あふれる湊町の風情を醸し出している。また、近年においては、「相馬樓」「さかた海鮮市場」「酒田夢の倶楽」「山王くらぶ」など、新たな観光施設がオープンし、多くの観光客で賑っている。また、映画「おくりびと」効果によって、ロケ地の一つとなった施設に多くの観光客が訪れている。 ・公共交通は、羽越本線・陸羽西線のターミナルであるJR酒田駅があり、隣接するバスターミナルからは、中心市街地を経由する乗合バスのほか都市間を結ぶバスが発着し、本市の玄関口となっている。しかし、平成9年のジャスコ酒田駅前店の撤退以来、酒田の顔として大変残念な状況が続いている。またJR及び民間バス路線を補完するとともに、民間バス路線の縮減等に起因する公共交通の空白区域の解消と交通弱者の交通確保を目的として市が福祉乗合バスを運行しており、中心市街地は公共交通の利便性の高い地域である。 ・地域住民のニーズ等把握調査において、本市の中心市街地は「歴史と文化がある」「安全に暮らせる」「生活に便利な施設が充実」「公共施設が充実」という項目で評価されているものの、「夜の賑わいが無い」「レジャー施設が不足」「車の利用が不便」「公共交通機関が不足」「歩いても楽しくない」「買い物に不便」など、これらの改善が求められている。 ・民間資本が主体となった「まちづくり開発会社」「酒田ロケーションボックス」「酒田みなとまちづくり市民会議」などが結成され、市民参加によるまちづくりの機運が高まっている。 ・平成14年3月に「酒田市都市計画マスタープラン」を策定した。 ・平成20年1月に「酒田市総合計画(2008～2017)」を策定した。 ・平成21年3月に「酒田市中心市街地活性化基本計画」が認定された。
--

<b>課題</b> 人口減少、少子高齢化、中心市街地商店街の低迷が進む中、賑わいの創出、観光客の誘引、居住人口の増加、交流の促進と交通環境の改善が緊急の課題である。 ・中心市街地地区内の店舗、事業所数及び従業員の減少が著しい。 ・中心市街地地区内に観光施設が点在し、面的な広がりがなく施設間ネットワークが不足している。 ・中心市街地地区内での人口と世帯数の減少が進み、地域活力が減退している。 ・他市町間、郊外地区との交通連携が不足している。
--

<b>将来ビジョン(中長期)</b> ・「酒田市総合計画(2008～2017)」では、「心豊かに健やかで未来に向かうまちづくり[人]」、「誇りと信頼にあふれる協働のまちづくり[ふるさと]」、「創造が世界に広がる活力あるまちづくり[交流]」を基本理念に、「いいきいき まち快適 未来創造都市酒田」をめざすことを掲げている。中心市街地の空洞化は全国の地方都市共通の課題として捉え、中心市街地はもとより地域のまちづくりエリアにおいても、快適で住みよい都市環境、生活空間の整備をし、また、交流の舞台となる活力あるまちづくりを総合的に進めるため、ひと、もの、情報が緊密で魅力あるライフスタイルを享受することができる、コンパクトで交流の広がる推進するとしている。 ・「酒田市都市計画マスタープラン」の全体構想では、中心市街地のまちづくりについて①暮らしと仕事が適度に調和した快適で暮らしやすい土地利用、②誰もが安心して生活できるゆとり空間の整備、③港、空港、高速道路を活用し、まちの賑わいを支える交流ネットワークの整備、④豊かな自然と港町としての歴史・文化が実感できる酒田らしい景観づくり、⑤豊富な緑と水に気軽にふれあえる潤いと安らぎの環境整備など具体的な方針を定めている。 ・「酒田市中心市街地活性化基本計画」の基本方針として、酒田は古くから最上川の河口の商業港として栄えてきた湊まちであり、本市のアイデンティティである歴史、文化、景観及び食べ物など豊富な資源がある。このアイデンティティを活かし、中心市街地のにぎわいを取り戻すため、市民同士、あるいは市民と観光客との交流によるコミュニケーションとコミュニティを促進し、中心市街地の活性化を推進する。中心市街地には、湊まち文化を感じる歴史的建造物や街並みが多く残っており、街なか居住により地域資源を再発見するとともに、来街者のにぎわいと交流のあるまちづくりを進めるとしている。
---

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 歩行者・自転車通行量(平日)	人/日	全国道路交通情勢調査及び酒田市、商店街連合会が実施している中心市街地定点3点での平日1日当たりの歩行者、自転車通行量	駅前広場をはじめとする中心市街地内のにぎわい拠点整備や観光ルート整備などにより回遊性を高め、中心市街地の歩行者・自転車通行量の増加を目指す。	2,276人	平成20年度	3,200人	平成26年度
2. 観光施設入込数	人	観光物産課が把握している「酒田夢の倶楽」、「旧鍛屋」など中心市街地地区内観光施設14施設の年間観光施設入込数	中心市街地内の観光拠点やその周辺環境整備、拠点施設を結ぶまちなか巡りルートなどの整備により、観光施設入込数の増加を目指す。	1,549,077人	平成19年度	1,610,000人	平成26年度
3. 観光用自転車利用者数	人/年	市内観光用自転車の年間利用者数	中心市街地の観光拠点を有機的に結ぶ手段として、観光用自転車観光の利便性向上、自転車観光ルートの整備を図り、利用者数の増加を目指す。	9,382人	平成20年度	12,500人	平成26年度
4. 中心市街地住みやすさ調査	%	中心市街地来街者約330人に実施した住みやすさの満足度に関する概要アンケートの満足度(H19年9月9,10日調査)	まちなか居住の促進、中心市街地へのアクセス向上や交通結節機能の強化など多様な都市機能の充実を図り、満足度を高める。	34.7%	平成19年度	40.0%	平成26年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

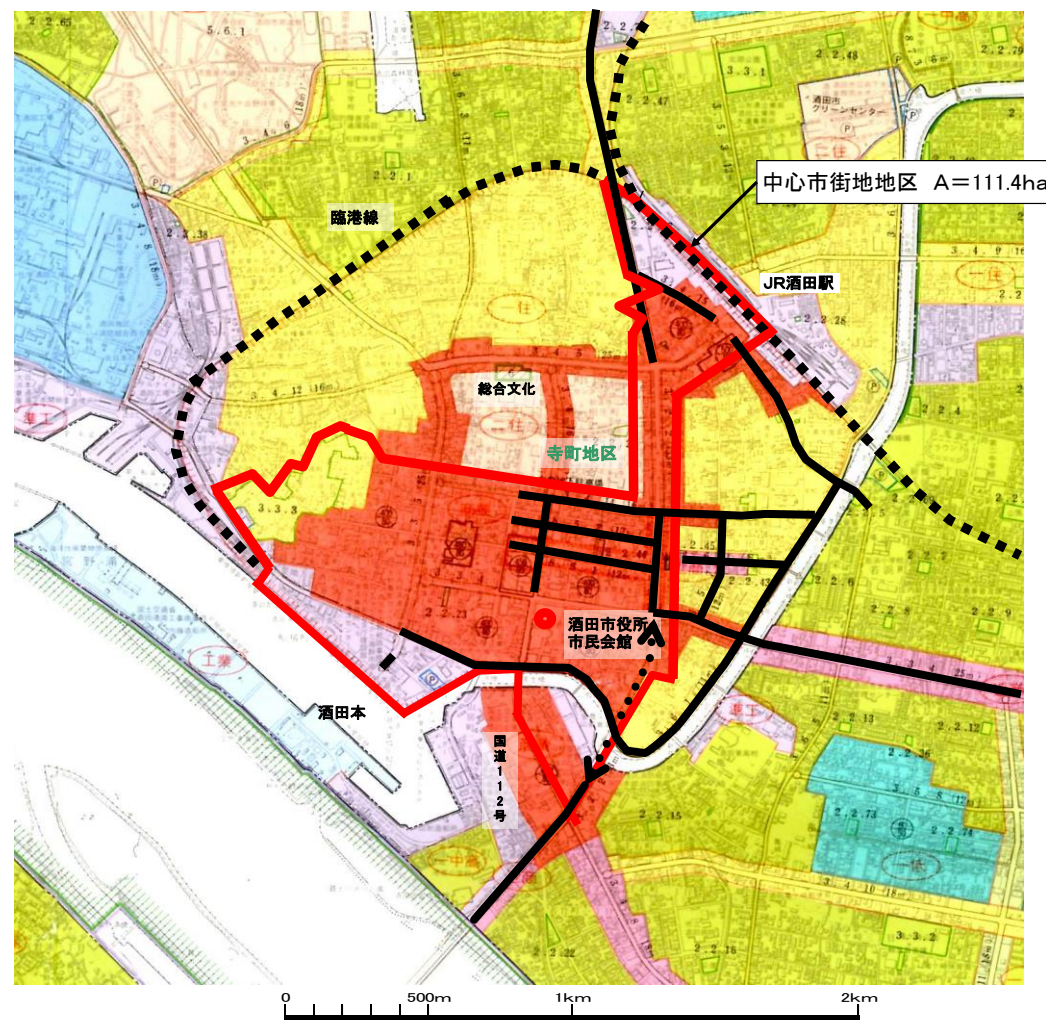
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備方針1: (にぎわい創出拠点及びその周辺の環境整備)</li> <li>・中心市街地内のにぎわい創出拠点及びその周辺の環境整備を行い、市民や観光客に喜ばれる空間創出を図る。</li> <li>・日和山公園、中央公園については、中心市街地のにぎわい観光の拠点、市民の憩いの場としての機能整備を図る。</li> <li>・商店街のにぎわい創出を図るため、街なかプロモーション事業等に取り組む。</li> <li>・大型店舗の空きスペースを活用しての新規出店者に賃貸借料を助成することにより、周辺への集客波及効果を向上させ、中心市街地のにぎわい創出を図る。</li> </ul>	<p>日和山公園環境整備事業(基幹事業/公園)            中央公園にぎわい創出事業(基幹事業/公園)            街なかプロモーション事業(提案事業/地域創造支援事業)            既存建造物活用事業(提案事業/地域創造支援事業)            魅力ある個店誘致支援事業(提案事業/地域創造支援事業)            日和山公園魅力創出事業(提案事業/地域創造支援事業)            酒田駅前地区優良建築物等整備事業(関連事業)            新産業会館整備事業(関連事業)            まちなかイルミネーション事業(関連事業)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備方針2: (まちなか巡り(観光)ルートの整備)</li> <li>・中心市街地内のにぎわい拠点、観光拠点を結ぶ回遊ネットワークの構築を図る。</li> <li>・特に観光用自転車の有効活用を図り、自転車観光ルートの整備(ハード、ソフト両面)を図る。</li> <li>・観光拠点周辺の環境整備を進めるとともに、食やおもてなしなど観光のソフト事業の充実にも力を入れる。</li> </ul>	<p>船場町一丁目1号線改良事業(基幹事業/高質空間形成施設)            日和山周辺地区環境整備事業(基幹事業/高質空間形成施設)            舞娘坂環境整備事業(基幹事業/高質空間形成施設)            酒田駅発観光まちあるき事業(提案事業/地域創造支援事業)            豊里十里塚線下水道管渠移設事業(提案事業/地域創造支援事業)            日和山公園魅力創出事業(提案事業/地域創造支援事業)            都市計画道路豊里十里塚線整備事業(関連事業)            みなとオアシス整備事業(関連事業)            酒田まちあるき推進事業(関連事業)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備方針3: (街なか居住の促進)</li> <li>・良好な住宅供給を支援するほか、住宅の新增改築に対する無利子融資(住宅改善支援事業)を重点的に行い、居住人口の増加を図る。</li> <li>・子育て支援機能など既存の都市福祉施設の集積を活かし、暮らしやすい環境づくりに努める。</li> </ul>	<p>日和山公園環境整備事業(基幹事業/公園)            中央公園にぎわい創出事業(基幹事業/公園)            日和山周辺地区環境整備事業(基幹事業/高質空間形成施設)            日和山公園魅力創出事業(提案事業/地域創造支援事業)            酒田駅前地区優良建築物等整備事業(関連事業)            まちなかイルミネーション事業(関連事業)            日和山周辺地区まちづくり検討事業(関連事業)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○モニタリングの実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑な事業執行のため、交付期間中はモニタリングを実施予定である。</li> </ul> </li> <li>○住民参加プロセスの実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定初期段階において、中心市街地地区関係者・市民代表者等と意見交換を実施済み。</li> <li>・交付期間中も、地区内の住民、商店街、関係団体の代表者等との意見交換会を年1回程度実施予定。</li> <li>・これまで実施してきた中活協協議会を交付期間中も継続して実施</li> <li>・日和山周辺地区においては、平成18年度から住民・商店街代表者・青年会議所等関係者と「まちづくり検討会」を実施し、交付期間中も実施予定。</li> </ul> </li> </ul>	



都市再生整備計画の区域

<p>湊酒田中心市街地地区(山形県酒田市)</p>	<p>面積 111.4 ha</p>	<p>区域 中町一丁目、二丁目、三丁目、本町一丁目、二丁目、三丁目、山居町一丁目、日吉町二丁目、船場町一丁目、二丁目、幸町二丁目の全部と御成町、幸町一丁目、相生町一丁目、二丁目、一番町、上本町、中央東町、中央西町、寿町、日吉町一丁目、南新町一丁目の一部</p>
---------------------------	------------------------	--

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



## 湊酒田中心市街地地区(山形県酒田市) 整備方針概要図

目標	湊町ルネッサンス(再興)	1. にぎわいあふれる商業のまち 2. 訪ねて楽しい観光のまち 3. 暮らしやすく多様な世代が住むまち	代表的な指標	歩行者・自転車通行量(平日)	(人/日)	2,276人 (平成20年度) → 3,200人 (平成26年度)
				観光施設入込数	(人/年)	1,549,077人 (平成19年度) → 1,610,000人 (平成26年度)
					観光用自転車利用者数	(人/年)

